

2025 つながるフェス

～復興支援学生ボランティア委員会～

Q. プロジェクトではどんなことを行うんですか？（メディア情報学科・2年生）



現在は、災害の記憶を風化させない、子供たちに伝える、大船渡の魅力をもつと色々な場所に届ける活動を行っている。（社会マネジメント学科・4年生）



岩手県大船渡市のまちづくりをメインとして活動を行なっています。具体的には、地元の方とお話をしたり、幼稚部の子ども達に大船渡市の良さ・魅力を発信したりしています。（社会マネジメント学科・3年生）



岩手県大船渡市の魅力発信と東日本大震災を風化させないために震災を経験していない世代に震災を伝える活動を行っています。週に一回、昼休みにミーティングを行っています。学期ごとに参加メンバーが多い日に行います。参加できなくても議事録を共有しますので安心していただければと思います。年に2回、日程の会うメンバーで現地を訪れます。移動は新幹線とバス又はレンタカーです。東京駅からの交通費は負担がありません。その他、実費での参加になりますが宿泊施設が1泊2500円と安いので1万円程度あれば足りることがほとんどです。現地訪問以外に実際に行った活動は、椿の学校(震災学習を本学の幼稚園や大船渡の小学校で行う。)、相模原市桜まつりでのスイーツ販売、相生祭の地域物産展でのスイーツ販売。今年は大規模山林火災の被害を受け、なにか私たちにできることはないか?と考え、募金活動をし、大船渡市の市長さんに直接義援金を贈呈いたしました。このように、この活動はみんなが自主的な活動ができます。活動内容に自身の意見が反映されやすくとてもやりがいがあります。役職関係なく、みんなで一から訪問内容を決めます。自由の幅があるのでやりたいことを実現できるのがこの活動の魅力だと思います。(社会マネジ

メント学科・2年生)



大船渡市のお菓子屋さんとコラボして作ったスイーツを文化祭で販売したり、実際に訪れて大船渡の魅力を SNS で発信します。（英語文化コミュニケーション学科・4年生）

Q. このようなプロジェクトに参加したことがないため、1番最初に参加しやすいプロジェクトはありますか？（日本語日本文学科・1年生）



まずは、学校の小さなイベントからでも学校「内」に関わってみることからのスタート、興味のある活動の見学をおすすめします。（社会マネジメント学科・4年生）



1番最初は復興支援ボランティア委員会がお勧めです！このプロジェクトは自身の意見が活動に反映されることがとても多いのでやりがいを感じていただけるかと思います！また、アドバイザーさんがいるのでサポートも手厚いです！（社会マネジメント学科・2年生）

Q. 1人で参加することに不安があるのですが、参加されている方はどのような方が多いですか？（日本語日本文学科・1年生）



一人で参加する人も多いのではないでしょうか。みんな最初から目的意識が明確で高いというわけではないと思いますし、「興味がある」「活動してみたい」という気持ちからスタートするとおもうので、気負わなくていいと思います。何かしたいって気持ちを持った学生が多いと思います。（社会マネジメント学科・4年生）



学年でいうと、現在では**4**年生が多いです。**4**年生の方含め参加されている皆さん、優しい方が多く、質問する際も丁寧に教えてくださいます。（社会マネジメント学科・3年生）



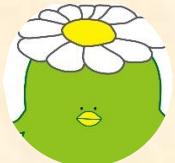
体験会にはお友達と参加されている方もいらっしゃいますが、1人の方もたくさんいます！むしろ、プロジェクトに加入してみると1人の方が圧倒的に多いです！私も最初、1人での参加で不安いっぱいでした。ですが、時間が経つにつれ、同世代の1人参加の子とお友達になったり先輩のお友達もできたりしてわいわいとても楽しいです！（社会マネジメント学科・2年生）



友達に誘われました。（英語文化コミュニケーション学科・4年生）

Q. 参加することのメリットとデメリットはありましたか？

(日本語日本文学科・1年生)



メリットは、交友関係、自身の視野や経験の深みが生まれる。デメリットは、学生生活が良くも悪くも忙しくなることだと思います。(忙しいなかでも自分でスケジュールを組む事の練習にもなると思うので、デメリットと捉えるかは考え方次第だと思いますが。) (社会マネジメント学科・4年生)



参加することでのメリットは、日頃大学の授業だけでは得られない経験を沢山得ることができます。行ったことのない県に行けたり、そこでしかない現地の方と交流もできます。(社会マネジメント学科・3年生)



メリットは誰かの役に立てたり普段やらないことをやったりとやりがいを感じられることで大学生活のモチベーションが高くなりました。デメリットは訪問

の際にのみですがお金がかかることです。（社会マネジメント学科・2年生）



メリットは積極的に発言できるようになったこと、和気あいあいとした仲間に出会えることです。デメリットはないです。（英語文化コミュニケーション学科・4年生）

Q. 授業と被ってしまった場合、どうされましたか？ (日本語日本文学科・1年生)



基本は講義優先。けれどそれも自分の裁量で決めていいことだと思います。重要な内容ならプロジェクトを優先する場面があっても良いと思いました。（社会マネジメント学科・4年生）



授業時間に活動することは基本ないですが、昼休みに定例会があるのでその前後の授業によっては途中からもしくは途中で抜けることがあります。ゼミナールや実習がある場合は抜けることもあります。訪問は基本夏季休暇など長期の休みに行きますが、それも事前に行けるかどうかのアンケートを行なっています。（社会マネジメント学科・3年生）



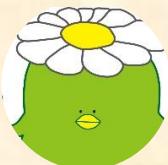
プロジェクトを欠席します。授業は立派な欠席理由になるため、正直に言って嫌な顔をされることはありません！（社会マネジメント学科・2年生）



お昼休憩で話し合います。（英語文化コミュニケーション学科・4年生）

Q. 大学在学中にプロジェクトに加入したいと考えています。現地での活動に特に興味

がありますが、コスト面が心配です。加入したきっかけや経緯を教えてほしいです。
(人間心理学科・1年生)



「何かしたい」と思った。不安もあったけど、「飛び込んでみたい」と思って加入了。結果、意外と漠然とした不安は大したことなくて、学生生活もプロジェクトも私生活もなんとかなる。コストもなんとかなる（何とかする）。入ってよかったですと心から思う。（社会マネジメント学科・4年生）



私は復興支援という内容に興味を持ったので加入了。コストに関してですが、現地に行くにあたり、東京駅からの交通費は大学の方で出してくださいます（東京駅までは自己負担、帰りも同様）。宿泊代や食事代、お土産代は、自己負担になります。（社会マネジメント学科・3年生）



復興支援学生ボランティア委員会では入学前から祖父母の実家が岩手県とのこともあり、気になっていて説明会に参加した後、加入しました！コスト面では訪問の度に1万円程度かかってしまいます。ですが、大学や市からの補助やサポートがあって相場よりは安く参加できていると実感しております。訪問は強制参加ではないので余裕がある時だけ参加する！というのも手だとおもいます！（社会マネジメント学科・2年生）

Q. プロジェクトに参加したことは就職活動に活かせますか？

（日本語日本文学科・1年生）



活かせる。その活動を先方に言えることだけが生きるのではなく、「活動をしてきた」という経験が自分を鼓舞してくれる。（社会マネジメント学科・4年生）



個人的にはとても活かせると思います。ガクチカやその他にも自分自身が頑張ってきたこと、行なってきたことを話す場面が就職活動ではあるのでそういう際に話しやすいと思います。プロジェクトは1日だけの活動ではないので、内容として濃いものを体験できると思います。話すことだけでなく、自分自身の経験も積めると思います。（社会マネジメント学科・3年生）

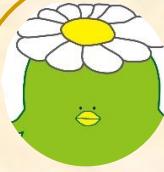
Q. 学業、アルバイト、プロジェクトの両立が難しく、来年からは就活も始まるのでどのように時間配分をしていたか教えていただきたいです。（人間心理学科・2年生）



まずは自分の生活最優先。就活▶学業▶バイト・プロジェクトだと思う。プロジェクトも大事だけれど、他のメンバーを信じて難しい時に自分を優先することも必要だと思う。（社会マネジメント学科・4年生）



私は現在就職活動中なので、まずはそれを最優先に考えて活動しています。まずは学業と就職活動を優先的に考えて、参加できそうであればアルバイトやプロジェクトに参加するかたちで大丈夫だと思います。（社会マネジメント学科・3年生）



私はもとみや SMILE プロジェクトと復興支援学生ボランティア委員会、中央執行委員会、地域のボランティア活動、アルバイトを掛け持ちしています。どれも役職についていることがほとんどです。学業と就活を最優先とし、その他の活動がキヤパオーバーになりそうな時はなる前に包み隠さず仲間に相談をして調節をしています。素直にそれぞれに相談をし、負担を分散していただける環境であれば相談が手っ取り早い解決方法だと思います！参考になれば幸いです。（社会マネジメント学科・2年生）

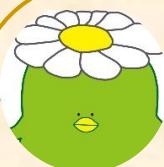
Q. プロジェクトメンバーを増やす為に行って良かったなと思う取り組みやイベントな

どあれば教えてください。（英語文化コミュニケーション学科・3年生）



説明会だと思う。あまり分からぬ。（社会マネジメント学科・4年生）

Q. プロジェクトで話を進める際に連絡を行っても返信がなく、話が進まないため一人で考えることがありました。そのような経験や、どのように対処すれば良いか教えてください。（健康栄養学科・2年生）



ボランティアと他の取り組みですがそのような経験をしたことがあります。その際は全ての意見を取り入れようとするのではなく、割り切って進めてしまうというのも手だと教わりました。また、一人で進めることで今後負担が増してしまうのであれば連携教育推進課の職員さんに相談をしたりミーティングを行ったりと対面で集まる機会を作ることが多いです。相手にやる気があるのか、それとも私生活がただ忙しくてプロジェクトが手に負えない状況なのかを素直に話せる環境作りも大切だと思います。（社会マネジメント学科・2年生）

Q. 学業とアルバイトに加えプロジェクトのスケジュールがぎりぎりで両立が厳しいと感じたのですが、どのように調整しましたか？（健康栄養学科・2年生）



私は現在就職活動中なので、まずはそれを最優先に考えて活動しています。まずは学業と就職活動を優先的に考えて、参加できそうであればアルバイトやプロジェクトに参加するかたちで大丈夫だと思います。（社会マネジメント学科・3年生）